



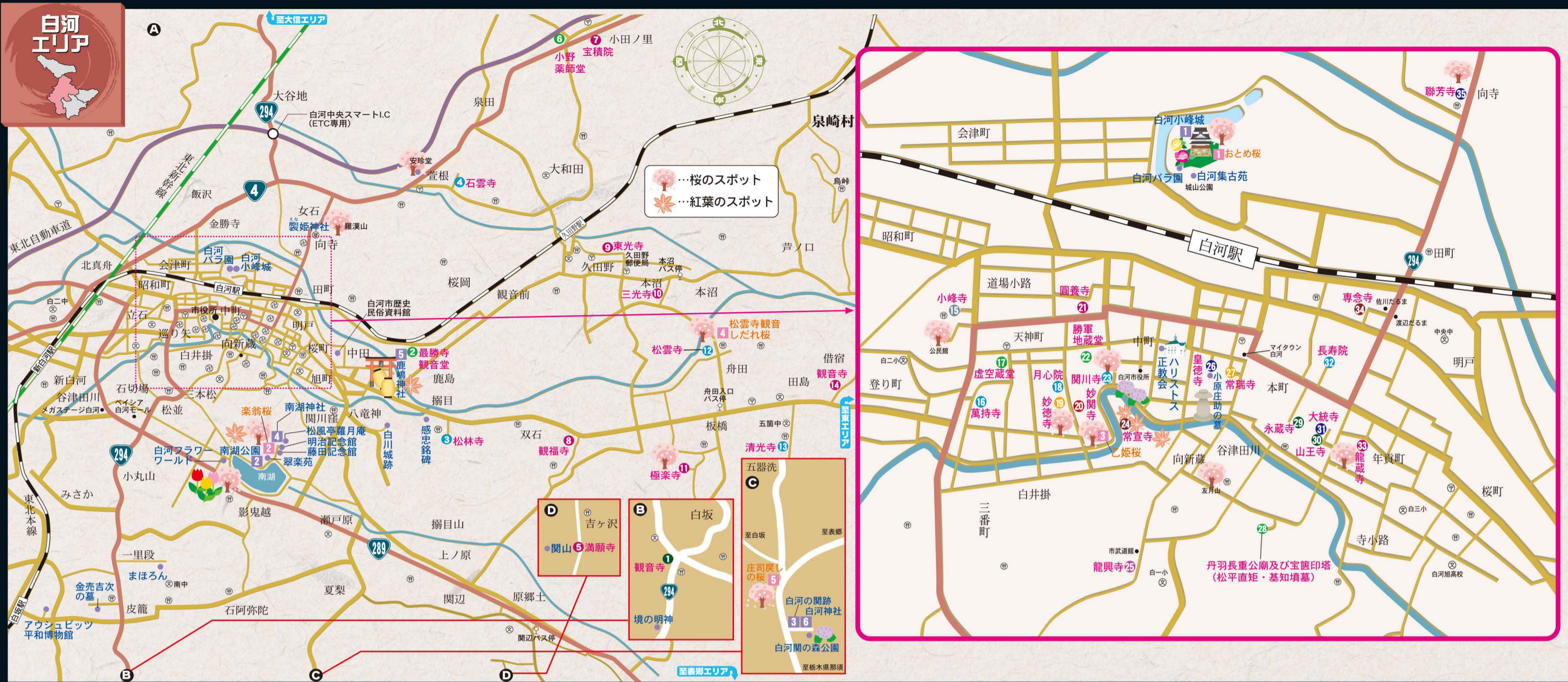
# 白河市 桜・寺院 ガイドマップ

(財)白河観光物産協会

〒961-0074 福島県白河市郭内222

TEL 0248 (22) 1147

http://www.shirakawa.ne.jp/~kyokai/kankou



## AREA MAP



## ACCESS 【交通のご案内】



●時宗 宗  
●曹洞宗 宗  
●真言宗 宗  
●天台宗 宗  
●日蓮宗 宗  
●黄檗宗 宗  
●臨済宗 宗  
●浄土真宗 宗  
●その他

●しらかわの桜名所 (重要参照)

●おすすめ観光スポット (重要参照)

**1 観音寺 (天台宗)**

応永15年(1408)に円順和尚によって開山(中興開山)かと伝えられています。

**24 常宣寺 (浄土宗)**

和泉部が今の白河市表郷番沢町の地に庵を結び、阿弥陀三尊を安置したのはじまりと伝えられています。永禄2年(1559)、白河の本町に移り、常宣寺と改められます。現在の地に移ったのは初代白河藩主丹羽長重の時代(1627~1637)です。二十二代逸翁白堂(1764~1825)は松平定信に仕えて『集古十種』編纂に関わり、この地を『高僧』として有名です。

**12 松雲寺 (曹洞宗)**

松林寺6世の華芳正可禪師が延徳年中(1489~92)に開山したと伝えられます。

**25 龍興寺 (黄檗宗)**

前身は白河藩主本多忠義が明暦3年(1657)に建立した丹羽院三尊を安置したのがはじまりと伝えられています。永禄2年(1559)、白河の本町に移り、常宣寺と改められます。現在の地に移ったのは初代白河藩主丹羽長重の時代(1627~1637)です。二十二代逸翁白堂(1764~1825)は松平定信に仕えて『集古十種』編纂に関わり、この地を『高僧』として有名です。

**13 清光寺 (曹洞宗)**

結城宗広の弟、広典を開基とする寺で、享徳2年(1453)に白河結城氏7代政朝が佛体した上野国龍興院二代宗願禪師を招いて開山しました。広典や結城政朝が結城一族の菩提寺で、位牌や供養塔が残っています。供養塔は南北朝から室町時代のもので考えられています。

**26 皇徳寺 (臨済宗妙心寺派)**

大同年中(806~10)に現在の寺小路付近に法相宗の僧、勝道が建てた勝道寺が前身と伝えられています。のち、平安時代末期には三十三間堂などの堂宇をもつ寺院として再興され、『大白山天恩皇徳寺』と尊称された。現在の地に移ったのは丹羽氏の時代とされています。

**14 観音寺 (真言宗豊山派)**

元和元年(1615)に尊英が開山し、後廣法印が開山したと伝えられています。この地は開山したと伝えられています。白河結城氏の氏神で開保も深かったため、その開保の文化財がいくつか伝来しています。

**27 常瑞寺 (浄土真宗本願寺派)**

源義経に従った佐藤雅信・忠信兄弟の討死を北平山(泉崎村)で知った白河の地に、尊庵を建てたのが起源と伝えられています。その後文永6年(1269)、親賢の孫の如信が、ここに念仏道場「大綱堂」を開基し、北関東および南奥州における初期浄土真宗の拠点となりました。寛永4年(1627)、この地は如信の廟所を襲し、初代白河藩主丹羽長重の命で白河城下の現在の場所に移りました。

**15 小峰寺 (時宗)**

鎌倉時代に時宗の開祖、一蓮上人が遊行の途中、白河蘇沢の地に創建したと伝えられています。蘇沢の地に以後に白川城(備前守)が築かれ、また小峰寺は南北朝時代に小峰(白河)城に移っており、白河結城氏と密接な関係がうかがえます。現在の場所に移ったのは丹羽氏(1627年入封)の時代です。なお、小峰寺は歴代の遊行上人が全国を遊行する際、逗留して布教を行う場所となっていました。

**28 丹羽長重公廟 (その他)**

寛永4年(1627)に白河に入封して初代白河藩主となった丹羽長重は、寛永14年に死去し、現在の地に葬られました。当初丹羽家の菩提寺である大綱寺がありましたが、丹羽氏の転封で二本松に去り、代藩主も菩提寺をここに置き、代藩主としたという説があります。創建はどちらも寛永3年(1336)と伝えられています。白河結城氏の領内、格調の高い寺院でした。

**16 萬持寺 (曹洞宗)**

天正3年(1575)、関川寺の住職を退隠した得兼和尚が開山したと伝えられます。その後、万治元年(1658)になって、各院和尚が同寺を中興し、「万持寺」と号したと言われています。のち「治」は現在の「持」に改められています。

**29 永蔵寺 (天台宗)**

鎌倉時代末期、幕府調伏の罪で白河の結城宗広に預けられた僧侶が宗広の専断を受け、弟の承意を留めて寺を建立したといわれています。正成が後醍醐天皇から開いた千手観音が円観を媒介として結城宗広に渡ったので、観音を安置する寺院を建立し、円観を開山としたという説があります。創建はどちらも寛永3年(1336)と伝えられています。白河結城氏の領内、格調の高い寺院でした。

**17 虚空蔵堂 (その他)**

明治初年に廃寺となった法雲寺境内のお堂が現在まで残っています。本堂は虚空蔵菩薩を祀るもので、寛永14年(1637)に建立されたといわれています。法雲寺は慶長年中(1596~1615)に快賢上人によって中興されたと伝えられています。快賢上人の発願による慶長6年(1601)の鐘金堂が伝わっています。

**30 山王寺 (天台宗)**

慈覚大師(円仁)が山寺の立石寺(山形県)に下る際に建立した寺院が前身と伝えられています。はじめ久田町に建てられ、今の「山王」という地名が山王寺の跡だといわれます。白河結城氏3代頼朝が父頼朝の菩提寺を奉うために開いた千手観音が円観を媒介として結城宗広に渡ったので、観音を安置する寺院を建立し、円観を開山としたという説があります。創建はどちらも寛永3年(1336)と伝えられています。白河結城氏の領内、格調の高い寺院でした。

**18 月心院 (曹洞宗)**

白河結城氏12代義親が天正14年(1586)に、母の七回忌にあわせて創建し、母の法号「福聚院月心宗悟大姉」から寺号を取ったと伝えられています。当時は関川寺境内にありましたが、白河藩主松平基知の時代(1695~1729)に現在の場所に移されたと伝えられています。

**31 大統寺 (臨済宗妙心寺派)**

弘仁年間(810~24)の開山と伝えられます。当初は下野国黒野の大統寺住職の隠居の寺で金勝寺の近くにあったと伝えられています。白河結城氏3代頼朝が父頼朝の菩提寺を奉うために開いた千手観音が円観を媒介として結城宗広に渡ったので、観音を安置する寺院を建立し、円観を開山としたという説があります。創建はどちらも寛永3年(1336)と伝えられています。白河結城氏の領内、格調の高い寺院でした。

**19 妙徳寺 (浄土真宗大谷派)**

常陸の豪族が同国内に建てた妙徳寺が前身と伝えられています。慶長年中白河城下の町野長門守がこの寺を八幡小路に招いたあと、鹿嶋藩主の命や火災によって二番町と金屋町の地を度々移転しています。現在の地に落ち着いたのは18世紀半以降です。

**32 長寿院 (曹洞宗)**

もとは石川郡高村(現在の玉川村)にあり、当時築いていた同寺を、白河藩主松平大和守家の菩提寺李頼寺(1692年、松平氏の転封で白河に来る)の住職が今の場所に再興したと伝えられています。李頼寺は松平氏の転封で他路に移りましたが、長寿院には李頼寺の僧一人を留め、白河に移らせた李頼寺の遺徳を祀るためとしました。

**20 妙閑寺 (日蓮宗)**

白河藩主松平大和守家(入封:1692~1741)の御所を祀っていた永寿寺が火災で消失したと伝えられています。その後、以前からあったようです。江戸時代は蓮華山福寿院と称していましたが、明治3年(1870)、年輩の成田山新勝寺から不動尊を勧請したため、「成田山福壽寺」と改称されています。

**33 龍蔵寺 (真言宗豊山派)**

万寿3年(1026)、白河の領主大田別当行隆が創建し、その後結城宗広の菩提寺を龍蔵寺と改めたと伝えられます。江戸時代には市内小田川にある玉皇院とともに白河地域の真言宗寺院を統括しており、壇林(修行僧の学問所)もありました。

**21 圓養寺 (真言宗智山派)**

開創の時期は明らかではありませんが、享保14年(1729)に火災で「巨龍」な本堂が消失したと伝えられています。それ以前からあったようです。江戸時代は蓮華山福寿院と称していましたが、明治3年(1870)、年輩の成田山新勝寺から不動尊を勧請したため、「成田山福壽寺」と改称されています。

**34 専念寺 (浄土宗)**

出羽国最上出身の僧、徳庵和尚が慶長年間(1596~1615)に法華経を一部供養を行った時に開山したと伝えられます。徳庵は修行で白河開山に臨んでいましたが、町の有力者が城下に取りかかると、専念寺に招かれました。この供養を記念した碑が慶長6年(1601)に建てられました。現在地に移ったのは天正9年(1581)のことです。結城宗広、直頼の五輪塔や結城廟が残っています。

**22 勝軍地蔵堂 (その他)**

明治初年に廃寺となった西光寺境内の地蔵堂が現在まで伝わっています。地蔵堂は天正5年(1575)に建立されたもので、現在残る地名「関川」はかつて関川寺があった地と言われ、現在の地に移ったのは天正9年(1581)のことです。結城宗広、直頼の五輪塔や結城廟が残っています。

**35 聯芳寺 (臨済宗妙心寺派)**

結城宗広の伯父、広綱が娘の菩提を奉うために建立した寺であるといわれています。もとは太田川(泉崎村)にあったと言われますが、いつの間にか現在の場所に移ってきたようです。

**11 極楽寺 (真言宗豊山派)**

火災などで記録が残っていませんが、寛文年間(1661~73)に齊興和尚が中興開山したと伝えられます。同寺には鎌倉時代の建長4年(1252)に作られた木造阿弥陀如来像(指指定文化財)が伝来しており、鎌倉時代からの古刹と推測されています。

**10 三光寺 (真言宗豊山派)**

文明10年(1478)開創か、その後寛文年間(1661~73)に齊興和尚が中興開山したと伝えられています。同寺には鎌倉時代の建長4年(1252)に作られた木造阿弥陀如来像(指指定文化財)が伝来しており、鎌倉時代からの古刹と推測されています。

**9 東光寺 (真言宗豊山派)**

詳しい由緒はよく分かっていませんが、貞享4年(1687)に真淨和尚によって開山されたと伝えられています。しかし、寛永(1624~44)に建てられた墓碑・五輪塔があり、さらに時代がさかのぼることが推測されます。

**8 観福寺 (真言宗豊山派)**

詳しいことは分かりませんが、元文2年(1737)に齊興和尚によって再興されたと伝えられています。龍蔵寺と同様に、多数の末寺を持っています。

**7 宝積院 (真言宗豊山派)**

14世紀中頃、鏡籠上人による開山と伝えられる寺で、結城宗広の菩提を奉っていたようです。白河結城家と何らかの繋がりがあったと考えられます。龍蔵寺と同様に、多数の末寺を持っています。

**6 小野薬師堂 (その他)**

小野小町伝説を持つ薬師堂で、旧奥州街道小田川宿の入り口にあります。宝積院の末寺、医王山成徳院白山寺(明治初期に廃寺)の堂宇が残ったもので、地域や奥州道中の安全を祈願する場所です。現在も付近の人々の信仰をあつめています。

**5 満願寺 (真言宗智山派)**

標高619mの関山の頂上にある山岳寺院で、聖武天皇が天平勝宝7年(755)、光明皇后の追善と万民のため、行基菩薩を開山として建てた寺院で、本尊の聖観音は天皇の持仏と伝えられています。また聖武天皇御願所という勅額も伝わっています。

**4 石雲寺 (曹洞宗)**

白河結城氏の一族新小峯氏を開基として、旧表郷村の峯全院二代、子賢が開山したと伝えられています。白河結城氏は衰えていたが、江戸時代に入った元禄年間(1688~1703)に、厳龍という僧が再興しました。

**3 松林寺 (曹洞宗)**

永享年中(1429~40)、結城直朝を開基とし、慶宇禪師の峯全院二代、子賢が開山したと伝えられています。白河結城氏の没落とともになくなって同寺は衰えていたが、江戸時代に入った元禄年間(1688~1703)に、厳龍という僧が再興しました。

**2 最勝寺観音堂 (その他)**

最勝寺は白河城下の鎮守・鹿嶋神社の神宮寺でした。廣弘明教により明治6年(1873)に廃寺されましたが、観音堂(正徳元年(1711)建立)と弥勒堂が現在まで残されています。鹿嶋神社は白河結城氏の氏神で開保も深かったため、その開保の文化財がいくつか伝来しています。

**1 観音寺 (天台宗)**

応永15年(1408)に円順和尚によって開山(中興開山)かと伝えられています。

